

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート							
事業コード	53	部名	福祉部	課・所・室名	障害福祉課	係名	障害給付係
掲載内容	基本目標	2 地域生活を充実し、社会参加を支援する					
	基本施策(大柱)	(4)社会参加の支援					
	施策(中柱)	②スポーツ、芸術・文化活動の充実					
	施策内容	①スポーツ活動の促進					
	事業概要	障害のある人と家族がスポーツに親しみ、スポーツを通じた交流を図るため、障害者スポーツ大会などを開催します。また、県が主催する埼玉県障害者スポーツ大会などへの参加を促進し、支援します。さらに、市内で開催される各種スポーツイベントについても、障害のある人の参加ができるように働きかけます。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	障害のある人もない人も参加できる、「ふれあいスポーツ大会」を実施します。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
ふれあいスポーツ大会参加者数(人)	目標値	70	70	70	70	70	70
	実績値	131					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	9月28日に、総合体育館アリーナでふれあいスポーツ大会を開催した。競技は4種目を実施し、多くの方楽しんで参加いただけた。						
	A	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	事後アンケートの中で様々な意見、要望等があった。良い意見等も多くあったが、改善点の指摘もあった。
今後の取り組み方針	参加者の意見要望等に応えられるよう新しい競技を検討するなど、企画、運営を行い、参加者の方々の満足度をさらにあげていく。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート

事業コード	53	部名	生涯学習部	課・所・室名	生涯学習・スポーツ課	係名	スポーツ係
掲載内容	基本目標	2 地域生活を充実し、社会参加を支援する					
	基本施策(大柱)	(4)社会参加の支援					
	施策(中柱)	②スポーツ、芸術・文化活動の充実					
	施策内容	①スポーツ活動の促進					
	事業概要	障害のある人と家族がスポーツに親しみ、スポーツを通じた交流を図るため、障害者スポーツ大会などを開催します。また、県が主催する埼玉県障害者スポーツ大会などへの参加を促進し、支援します。さらに、市内で開催される各種スポーツイベントについても、障害のある人の参加ができるように働きかけます。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	ウォークラリー大会、市民スポーツ教室、小学生スポーツ教室(ミニテニス教室・なぎなた教室)、市民スポーツ大会及びロードレース大会を開催。 オリパラレガシー事業として、ビームライフフル体験会、誰でもOK!記録を破れ(短距離走の記録会)を開催。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
障害のある人でも参加できるスポーツ大会等の(回)	目標値	4	4	4	4	4	4
	実績値	4					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	市民スポーツ教室(ボッチャ)をはじめ、市民スポーツ大会、ロードレース大会、ビームライフフル体験会を予定通り開催することができ、多くの方に参加していただいた。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	より多くの人が参加しやすい開催方法等を検討していく必要がある。
今後の取り組み方針	今後も障害の有無を問わずだれでもスポーツに参加できる場を提供していく。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート							
事業コード	54	部名	福祉部	課・所・室名	障害福祉課	係名	障害給付係
掲載内容	基本目標	2 地域生活を充実し、社会参加を支援する					
	基本施策(大柱)	(4)社会参加の支援					
	施策(中柱)	②スポーツ、芸術・文化活動の充実					
	施策内容	②障害者芸術文化活動の支援					
	事業概要	『障害者による文化芸術活動の推進に関する法律』に基づき、障害の有無にかかわらず、芸術・文化に親しむ機会を増やすため、各種イベントなどを開催するとともに、障害のある人による芸術作品の制作および作品の展示の機会確保を含めた生涯学習の充実を図ります。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	「障害者芸術体験教室」を開催し、障害のある人に向け芸術に触れる機会を確保する。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
芸術体験教室参加者数(人)	目標値	30	30	30	30	30	30
	実績値	24					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	参加者数は目標値に届かなかったが、実施後のアンケートでは「満足」や「また参加したい」といった意見が多く挙げられた。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	参加者数を集めるための周知方法について検討していく。
今後の取り組み方針	障害者の芸術活動を支援していく。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート

事業コード	54	部名	生涯学習部	課・所・室名	生涯学習・スポーツ課	係名	生涯学習係
掲載内容	基本目標	2 地域生活を充実し、社会参加を支援する					
	基本施策(大柱)	(4)社会参加の支援					
	施策(中柱)	②スポーツ、芸術・文化活動の充実					
	施策内容	②障害者芸術文化活動の支援					
	事業概要	『障害者による文化芸術活動の推進に関する法律』に基づき、障害の有無にかかわらず、芸術・文化に親しむ機会を増やすため、各種イベントなどを開催するとともに、障害のある人による芸術作品の制作および作品の展示の機会確保を含めた生涯学習の充実に図ります。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	催し物情報の提供について、市の広報やホームページ、SNSを活用し、市内公共施設等へのチラシやポスターの設置などにより、周知を図るとともに、障害者団体、障害者施設へも声かけを行い、障害のある方への文化・芸術活動への働きかけを行っていく。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
芸術文化展、芸能まつり、文化祭の入場者数(人)	目標値	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000
	実績値	13,872					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	芸術文化展や芸能まつり、文化祭を開催することができたが、入場者数は、目標を達成することができなかった。芸術文化展の出品者数や芸能まつりの出演者数は、前年度を上回ることができたため、市民参加を促進することはできていると捉えている。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	各事業の出展者や出演者は、微増傾向にあるが、新たに出演等をしていただける方法などを工夫する必要がある。
今後の取り組み方針	文化芸術団体等と課題解決に向けた取り組み方法について、意見交換などを行い、市民が興味を持ち、参加していただいたり、入場していただける方法を検討する。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート

事業コード	55	部名	生涯学習部	課・所・室名	図書館	係名	図書館サービス係
掲載内容	基本目標	2 地域生活を充実し、社会参加を支援する					
	基本施策(大柱)	(4)社会参加の支援					
	施策(中柱)	②スポーツ、芸術・文化活動の充実					
	施策内容	③読書環境の整備					
	事業概要	図書館では、障害のある人に対応したサービスを行っており、これらの充実と利用の促進を図ります。 また、視覚障害者等の読書環境の整備に関する法律(通称「読書バリアフリー法」)に基づき、障害のある人の読書環境の整備に向けた、サービスの充実に努めます。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	障害の有無に関わらず文字・活字文化の恩恵を受けられるよう拡大読書器やデジタイズ再生機の設置、貸出・郵送サービス、対面朗読サービス等の提供、大活字本、点字図書、LLブックを収集する他、誰でもが利用することができる電子図書(音声読み上げ機能付きコンテンツ)の充実に努める。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
電子図書(音声読み上げ機能機能付き)コンテンツ数(点)	目標値	1,670	1,682	1,694	1,706	1,718	1,730
	実績値	1,597					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	障害の有無に関わらず文字・活字文化の恩恵を受けられるよう拡大読書器やデジタイズ再生機の設置、貸出・郵送サービス、対面朗読サービス等の提供、大活字本、点字図書、LLブックを収集する他、誰でもが利用することができる電子図書(音声読み上げ機能付きコンテンツ)の充実に努めた。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	拡大読書器やデジタイズ再生機の設置、貸出・郵送サービス、対面朗読サービス等の提供、大活字本、点字図書、LLブックを収集する他、誰でもが利用することができる電子図書(音声読み上げ機能付きコンテンツ)を備えている等、図書館における障害者サービスの周知が課題。
今後の取り組み方針	大活字本、点字図書、LLブックを収集する他、誰でもが利用することができる電子図書(音声読み上げ機能付きコンテンツ)の充実を図るとともに、こうしたバリアフリー資料が図書館にあること、また、郵送サービスなど障害のある方へのサービスがあることについて、周知を図っていく。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート

事業コード		56	部名	福祉部	課・所・室名	障害福祉課	係名	障害給付係
掲載内容	基本目標	2 地域生活を充実し、社会参加を支援する						
	基本施策(大柱)	(4)社会参加の支援						
	施策(中柱)	②スポーツ、芸術・文化活動の充実						
	施策内容	④レクリエーション活動の促進						
	事業概要	各障害者団体では余暇活動を積極的に展開しています。団体に所属していない人も含め、障害のある人のレクリエーションに親しむ機会を増やすため、市内で開催されるレクリエーション活動に、障害のある人が参加できるよう支援します。						

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	障害者団体等が実施する市民が広く利用できるレクリエーション事業について補助金を交付する。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
レクリエーション事業補助金交付件数(件)	目標値	3	3	3	3	3	3
	実績値	3					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	補助金制度について市のホームページやメールなどで広く周知し、障害者団体等が実施する市民が広く利用できるレクリエーション事業について募集したところ、3団体からの申請があり、3団体に交付した。フライングディスク大会やボッチャ大会、カラオケ大会など、工夫を凝らしてそれぞれの団体が個性を生かしてレクリエーション事業を行った結果、多くの障害者にレクリエーション事業に参加してもらうことができた。						
	A	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	特定の団体に偏らないよう配慮する。
今後の取り組み方針	今後も必要な予算を確保し、現状どおり継続する。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート

事業コード	57	部名	生涯学習部	課・所・室名	生涯学習・スポーツ課	係名	生涯学習係
掲載内容	基本目標	2 地域生活を充実し、社会参加を支援する					
	基本施策(大柱)	(4)社会参加の支援					
	施策(中柱)	②スポーツ、芸術・文化活動の充実					
	施策内容	⑤生涯学習の推進					
	事業概要	生涯学習を総合的、体系的に推進するため、朝霞市生涯学習計画に基づいて生涯学習関連事業の充実に努めます。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	「一人一人が心豊かに とともに学び 生きるまち あさか」を実現に向け、「知の循環型」の生涯学習施策を計画的に推進していく為に、「世代」、「学び」、「朝霞らしさ」の3つのポイントに留意し、市民の皆さんの主体的な学習活動を支援し、ライフスタイルやライフステージに応じた学習機会や、地域やまち、ひとづくりとしての学習機会を提供する。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
社会教育委員会議の開催(回)	目標値	3	3	3	3	3	3
	実績値	3					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	社会教育委員会議では、生涯学習計画に沿って実施した生涯学習施策や新年度に実施する施策について、報告及び説明を行い、目標を達成することができた。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	生涯学習施策の中でも参加者が減少している事業など、見直しや検討を行う必要がある施策がある。
今後の取り組み方針	引き続き、施策の課題や分析を行うほか、ニーズの把握に努め、関係課や関係団体等と情報交換を行うなど、生涯学習施策の推進を図る。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート							
事業コード	58	部名	市民環境部	課・所・室名	産業振興課	係名	農業振興係
掲載内容	基本目標	2 地域生活を充実し、社会参加を支援する					
	基本施策(大柱)	(4)社会参加の支援					
	施策(中柱)	②スポーツ、芸術・文化活動の充実					
	施策内容	⑥市民農園の利用促進					
	事業概要	野菜を栽培することにより、身近な自然に触れ合う機会を増やすため、障害のある人の優先利用枠を設けるとともに、障害者手帳所持者の利用料の免除を行い、利用の促進を図ります。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	浜崎農園に福祉農園9区画を設置し、うち2区画を車いす利用者の方でも利用できるプランターを設置する。市民農園の利用申込が障害者手帳を有する方の世帯からあったときは、賃料を免除する。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
身体障害者手帳を持つ市民農園の利用人数(人)	目標値	50	50	50	50	50	50
	実績値	49					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	浜崎農園利用希望者の状況から、福祉区画すべてを障害者に案内することができなかったが、他農園も含めほぼ目標値どおり障害者の方にご利用いただいた。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	浜崎農園の福祉区画を福祉区画として有効に利用できていない。
今後の取り組み方針	浜崎農園の福祉区画を福祉区画として有効活用できるように積極的にPRしていきたい。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート							
事業コード	59	部名	福祉部	課・所・室名	障害福祉課	係名	障害給付係
掲載内容	基本目標	3 就労を支援する					
	基本施策(大柱)	(1)就労の支援					
	施策(中柱)	①就労の場の確保					
	施策内容	①啓発活動の実施					
	事業概要	県やハローワークとの連携を図りつつ、事業所に対する障害のある人を対象とした雇用促進キャンペーンや広報紙などを通じた広報活動を行い、障害のある人の雇用の促進を図ります。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	指定管理により、障害者就労支援センター事業を実施し、企業訪問などによる職場開拓、障害者雇用についての啓発を行う。広報あさかに就労支援センターに関する記事を掲載する。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
障害者就労支援センターにおける新規開拓事業者数(ヶ所)	目標値	20	20	20	20	20	20
	実績値	25					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	県内の企業について、埼玉県障害者雇用総合サポートセンターと連携して障害者雇用の啓発をおこなった。また、広報紙社協あさかを利用して、障害者雇用の啓発記事を掲載することで、理解が広まった。						
	B	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	都内への就職が増加しているが、企業情報等の情報収集が難しいことがある。
今後の取り組み方針	継続して企業情報等の情報収集を行い、利用者支援に努める。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート							
事業コード	60	部名	福祉部	課・所・室名	障害福祉課	係名	障害給付係
掲載内容	基本目標	3 就労を支援する					
	基本施策(大柱)	(1)就労の支援					
	施策(中柱)	①就労の場の確保					
	施策内容	②障害のある人の雇用の促進					
	事業概要	法定雇用率の達成に向けて県やハローワークと連携し、企業などに対してさまざまな働きかけを行います。就労移行支援、就労継続支援、訓練施設などを活用するとともに、関係機関との協力体制により障害のある人の就業促進を図ります。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	障害者就労支援センターを活用し、関係機関や企業などと連携し、就労促進を図る。指定管理である、はあとぴあ福祉作業所(就労継続支援B型)、あさか福祉作業所(就労移行支援、就労継続支援B型)を活用し、障害のある方が、一般企業などへの就労、もしくは就労移行支援事業での就労訓練ができるよう支援を行う。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
就労支援センターを活用した就職者数(人)	目標値	20	20	20	20	20	20
	実績値	32					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	企業や各関係機関を活用して、その人が安定して就労できるように支援をおこなった。また、相談支援センターと合同で「障害者の就労について」講演会をおこなった。						
	A	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	障害者雇用について啓発する必要がある。
今後の取り組み方針	今後も「障害者の就労」をテーマに講演会を実施し、雇用の促進に繋げていく。

令和6年度

C票

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート

事業コード	60	部名	市民環境部	課・所・室名	産業振興課	係名	産業労働係
掲載内容	基本目標	3 就労を支援する					
	基本施策(大柱)	(1)就労の支援					
	施策(中柱)	①就労の場の確保					
	施策内容	②障害のある人の雇用の促進					
	事業概要	法定雇用率の達成に向けて県やハローワークと連携し、企業などに対してさまざまな働きかけを行います。 就労移行支援、就労継続支援、訓練施設などを活用するとともに、関係機関との協力体制により障害のある人の就業促進を図ります。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	ハローワークと連携し、週1度市役所1階市民ホールで求人情報を配布する。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
就労支援情報の発信(回)	目標値	48	48	48	48	48	48
	実績値	48					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	ハローワークからの求人情報について、市役所1階市民ホールにチラシを設置するなど、情報発信をしてきた。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	目標を達成できたので、課題はなし。
今後の取り組み方針	求人情報を週に1回市民ホールに設置するなど今後も継続して情報発信をする。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート

事業コード	60	部名	総務部	課・所・室名	職員課	係名	人事研修係
掲載内容	基本目標	3 就労を支援する					
	基本施策(大柱)	(1)就労の支援					
	施策(中柱)	①就労の場の確保					
	施策内容	②障害のある人の雇用の促進					
	事業概要	法定雇用率の達成に向けて県やハローワークと連携し、企業などに対してさまざまな働きかけを行います。就労移行支援、就労継続支援、訓練施設などを活用するとともに、関係機関との協力体制により障害のある人の就業促進を図ります。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	障害者の雇用の促進等に関する法律で定める障害者の法定雇用率を維持することにより、障害のある人の雇用促進に寄与する。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
障害者雇用率(%)	目標値	2.80	2.80	3.00	3.00	3.00	3.00
	実績値	3.09					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	法定雇用率以上の水準を維持することにより、障害のある人の雇用促進に寄与することができた。						
	B	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	職員数の増加や障害のある職員の退職などにより、法定雇用率を達成できなくなる可能性に備える必要がある。
今後の取り組み方針	障害のある人を対象とした職員採用試験を実施するとともに、障害のある職員が職場環境を理由にした退職をしないよう障害のある職員の定着に努める。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート							
事業コード	61	部名	福祉部	課・所・室名	障害福祉課	係名	障害給付係
掲載内容	基本目標	3 就労を支援する					
	基本施策(大柱)	(1)就労の支援					
	施策(中柱)	②就労の促進と安定					
	施策内容	①相談窓口の整備					
	事業概要	障害のある人の就労には、障害の状況に応じたきめ細かな配慮が必要なことから、ハローワーク、県、特別支援学校、市内の障害者団体などと連携を図りながら、障害のある人の状況を踏まえた就業情報の提供や就業における配慮事項などに関するアドバイスを含めたきめ細かな相談に努めます。また、ハローワークや県などと連携を図りながら障害のある人の就業・起業等への支援、NPO法人化への支援など、相談体制の充実に努めます。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	指定管理により、障害者就労支援センター事業を実施し、支援対象者及びその家族、事業主などからの就労全般に関する相談に対応する。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
就労支援センターにおける相談・支援件数(件)	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	実績値	3,748					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	支援対象者、家族、企業、関係機関等から随時相談を受けている。障害雇用も定着しつつあることから、企業の雇用主からの相談も増えている。						
	A	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	継続して相談を受けることができるよう体制を維持していく必要がある。
今後の取り組み方針	今後も相談に対応するほか、県内就労関係の会議などに積極的に参加し、職員のスキルアップも図っていく。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート							
事業コード	61	部名	市民環境部	課・所・室名	産業振興課	係名	産業労働係
掲載内容	基本目標	3 就労を支援する					
	基本施策(大柱)	(1)就労の支援					
	施策(中柱)	②就労の促進と安定					
	施策内容	①相談窓口の整備					
	事業概要	障害のある人の就労には、障害の状況に応じたきめ細かな配慮が必要なことから、ハローワーク、県、特別支援学校、市内の障害者団体などと連携を図りながら、障害のある人の状況を踏まえた就業情報の提供や就業における配慮事項などに関するアドバイスを含めたきめ細かな相談に努めます。 また、ハローワークや県などと連携を図りながら障害のある人の就業・起業等への支援、NPO法人化への支援など、相談体制の充実に努めます。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	特定非営利活動法人キャリアプラザ埼玉と契約し、月2回就職支援相談を実施する。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
就職支援相談の実施(回)	目標値	24	24	24	24	24	24
	実績値	24					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	計画通り就職支援相談を実施し、相談の機会を提供した。今後、より多くの方に利用してもらえるようPRしていく。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	相談を計画通り行えたものの、実際に相談を受ける人数・件数については減少傾向にある。
今後の取り組み方針	相談の実施情報について広報あさかに毎月掲載するなど広く周知する。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート							
事業コード	62	部名	福祉部	課・所・室名	障害福祉課	係名	障害給付係
掲載内容	基本目標	3 就労を支援する					
	基本施策(大柱)	(1)就労の支援					
	施策(中柱)	②就労の促進と安定					
	施策内容	②障害者就労支援センターの活用					
	事業概要	障害者就労支援センターにおいて、職業相談をはじめ、就職準備支援、職場定着支援、生活支援など各種支援により、障害のある人の雇用を進めます。職場定着支援については、埼玉障害者職業センターが行うジョブコーチ支援事業なども活用して、障害のある人の定着促進を図ります。また、生活支援についても重要な支援ととらえ、きめ細かな対応に努めるとともに、余暇活動のニーズを踏まえつつ支援のあり方についても調査・研究を行います。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	指定管理により、障害者就労支援センター事業を実施し、職業相談、就職準備支援、職場実習支援、職場定着支援、離職時・離職後支援、生活支援、職場開拓、雇用・実習相談、関係機関との連携等、各種支援を行い、障害のある人の雇用を進める。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
障害者就労支援センター 新規登録者数(人)	目標値	30	30	30	30	30	30
	実績値	20					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	就労支援を必要とする人に対して登録をおこなった。また、それ以外の人については情報提供や他機関の紹介をおこない、途切れない支援をおこなった。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	社会情勢や利用者のニーズの変化に対応できるよう、支援体制を継続的に見直していく必要がある。
今後の取り組み方針	安定した就労が継続できるように企業側の支援や関係機関との連携を強化していく。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート							
事業コード	63	部名	福祉部	課・所・室名	障害福祉課	係名	障害福祉係
掲載内容	基本目標	3 就労を支援する					
	基本施策(大柱)	(1)就労の支援					
	施策(中柱)	②就労の促進と安定					
	施策内容	③就職支度金の支給					
	事業概要	就労に係る施設の入所及び通所者が、就職などにより自立生活する際に、就職支度金を支給します。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	就労移行支援事業所および就労継続支援事業所等をととして制度の周知をすすめていく。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
就職支度金支給件数(件)	目標値	20	20	20	20	20	20
	実績値	9					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	目標値を大きく下回る結果となった。就労移行支援等の利用を経て、一般就労等ではなく就労継続支援A・B型へ移行したり、利用期間を延長するケースが増えたことが、実績値の伸び悩みの原因であると考えられる。						
	D	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	就労移行支援を経て就労に結び付くまでの期間が長引いていることもあり就職数も減少し、申請も減少している。
今後の取り組み方針	引き続き、関係機関、対象者本人への周知を進めていく。 一般就労を希望する方に適切な訓練が受けられるよう、就労移行支援を行っていく。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート							
事業コード	64	部名	福祉部	課・所・室名	障害福祉課	係名	障害福祉係
掲載内容	基本目標	3 就労を支援する					
	基本施策(大柱)	(1)就労の支援					
	施策(中柱)	②就労の促進と安定					
	施策内容	④就労選択支援の実施					
	事業概要	障害のある人本人が就労先・働き方についてより良い選択ができるよう、就労アセスメントの手法を活用して、本人の希望、就労能力や適性等に合った選択を支援します。ハローワークはこの支援を受けた者に対して、アセスメント結果を参考に職業指導等を実施します。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	就労アセスメントによる支援を希望し、サービスの申請をするときや、特別支援学校の卒業に合わせて就労アセスメントを利用する時に就労選択支援を取り入れる。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
就労選択支援サービスの利用人数(人)	目標値		1	1	1	1	1
	実績値						
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	令和7年10月以降に就労選択支援がスタートすることもあり、令和6年度は目標値を設定せず、実績値もなし。						
		A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

課題	令和7年10月以降にサービスを受けるにあたっての、フローの確認とサービスの周知。
今後の取り組み方針	就労継続支援B型事業所連絡会にて、サービス利用に関する周知を行う。厚労省のマニュアルを参考に、利用にあたっての市のフローをサービス支給担当と検討する。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート							
事業コード	65	部名	福祉部	課・所・室名	障害福祉課	係名	障害福祉係
掲載内容	基本目標	3 就労を支援する					
	基本施策(大柱)	(1)就労の支援					
	施策(中柱)	②就労の促進と安定					
	施策内容	⑤就労移行支援の実施					
	事業概要	就労移行支援は、一般就労を希望し、知識・能力の向上、実習、職場探しなどを通じ、適性に合った職場への就労などが見込まれる人に対し、作業訓練や職場実習等を実施する事業で、就労が見込まれる人の積極的な利用を支援します。この一環として、県や周辺自治体、特別支援学校、障害のある人を雇用している事業所などとの連携により、特別支援学校を卒業した人が就労に先立ち、職業訓練を受けることができる場について調査・研究を行います。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	一般就労を希望する方に支給決定し、一般就労に向けた職業訓練などを行い、就労が見込まれる人の積極的な利用を支援する。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
就労移行支援年間延べ利用者数(人)	目標値	804	852	912	960	1,020	1,080
	実績値	862					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	年間延べ利用者は目標に達した。年々、特別支援学校卒業後の進路に就労移行支援を選択する人数も例年増えており、障害者雇用を含む就労への訓練希望は伸びている。						
	A	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	訓練の支給決定機関が2年間で決められており、近年、就職活動に要する時間の確保等のため1年延長をするケースが増えてきている。
今後の取り組み方針	一般就労を希望する方に適切な訓練が受けられるよう、引き続き就労移行支援を行っていく。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート							
事業コード	66	部名	福祉部	課・所・室名	障害福祉課	係名	障害福祉係
掲載内容	基本目標	3 就労を支援する					
	基本施策(大柱)	(1)就労の支援					
	施策(中柱)	②就労の促進と安定					
	施策内容	⑥就労定着支援の実施					
	事業概要	就労移行支援等の利用を経て一般就労した障害のある人で、就労に伴う環境の変化により生活面の課題が生じている方を対象に、就労定着支援事業所が職場・家族・関係機関への連絡調整を行ったり、職場や自宅に訪問し、生活リズムや体調等の指導や助言等を行ったりすることで、安定した就労が継続できるよう支援します。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	就労定着支援対象者に対して支給決定し、安定した就労が継続できるように支援する。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
就労定着支援 年間延利用者数(人)	目標値	576	732	924	924	924	924
	実績値	357					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	目標値を大きく下回る結果となった。就労移行支援等の利用を経て一般就労した障害のある人が長続きしなかったり、一般就労等ではなく就労継続支援A・B型へ移行したり、利用期間を延長するケースが増えたことから、新規の就労定着支援利用者が伸び悩んだことが原因と考えられる。とはいえ、実績値から、一般就労等に結び付いた利用者に対し、就労定着支援の利用は普及啓発できていると考えられる。						
	D	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	就労移行支援を経て就労に結び付くまでの期間が長引いていること、就労移行支援を利用したゴールが一般就労等ではなく、就労継続支援A・B型に結び付くケースも増えているため、実績値は伸び悩む傾向にある。
今後の取り組み方針	一般就労等に結び付いたケースについては、就労定着支援の利用ができることを本人に周知徹底し、継続的な就労を継続できるように、事業所と情報共有・連携を図る。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート							
事業コード	67	部名	福祉部	課・所・室名	障害福祉課	係名	障害福祉係
掲載内容	基本目標	3 就労を支援する					
	基本施策(大柱)	(1)就労の支援					
	施策(中柱)	②就労の促進と安定					
	施策内容	⑦就労継続支援の実施					
	事業概要	就労継続支援事業では、雇用継続に必要な知識や能力の向上のための訓練の実施、一定の賃金水準のもとで継続した就労の機会を提供するなどのサービスを行っています。 また、市としても可能な業務については、就労継続支援事業所に対し、業務発注に努めるとともに、工賃向上のために適宜助言を行います。 利用にあたっては、本人の希望を尊重するとともに、一般就労に必要な知識・能力の高まった人については、一般就労に向けた支援を行います。 また、就労したものの職場や仕事に馴染めずに離職した人に対して、職業訓練施設などの利用により、就労復帰に導きます。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	・指定管理により、就労継続支援B型事業を実施し、障害のある方が、雇用継続に必要な知識や能力の向上のための訓練の実施、継続した就労の機会を提供する。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
就労継続支援(A型・B型)年間実利用者数(人)	目標値	236	256	278	278	278	278
	実績値	267					
取り組み・進捗状況及び自己評価	年間の実利用者数は若干ながら目標を上回った。今年度から、就労継続支援B型事業所連絡会を開催し、今後も年4回程度の開催を実施していく方針。その場にて、各就労継続支援B型事業所の特色や課題等の意見交換を図り、サービスの向上、利用者数を増やす取り組みについて検討を進めることができる。						
	B	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	新規で就労継続支援A型・B型を希望する障害者等に対し、就労選択支援の活用が原則必要になるため、そのフローを確立させることが必要。
今後の取り組み方針	今後も本人の希望する支援と就労の場の提供に努めながら、サービスの周知を行っていく。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート

事業コード	68	部名	こども・健康部	課・所・室名	健康づくり課	係名	保健係
掲載内容	基本目標	4 共に育ち、共に学ぶ療育・教育を推進する					
	基本施策(大柱)	(1)障害のある子どもの療育・教育の充実					
	施策(中柱)	①療育の充実					
	施策内容	①親子グループ指導の実施					
	事業概要	ことばの遅れなどがある乳幼児や育児不安を持つ親に対し、グループでの活動を通して子どもの発達を促すとともに、適切な時期に親に対して適切なアドバイスや各種援助を行います。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	<親子グループ>「こぼんだ」…1歳6か月健診後の児と親 定員10組 全24回実施 親子遊び、課題遊び 「にじいろいるか」…こぼんだグループ終了後、継続してグループ指導が必要な未就園児。 定員10組 全24回実施 グループワーク、母の会						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
親子グループ実施回数(回)	目標値	48	48	48	48	48	48
	実績値	48					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	こぼんだ R6年度24回実施 延126人が参加 にじいろいるか R6年度は24回実施 延134人が参加 家族からの各種個別相談には随時対応するとともに、グループを実施する中で、参加した本人だけでなく、家族の精神的健康の保持、増進に努めた。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	引き続き相談や事業を通して家族の支援につなげていく。
今後の取り組み方針	現在の取組を継続。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート

事業コード	69	部名	こども・健康部	課・所・室名	健康づくり課	係名	保健係
掲載内容	基本目標	4 共に育ち、共に学ぶ療育・教育を推進する					
	基本施策(大柱)	(1)障害のある子どもの療育・教育の充実					
	施策(中柱)	①療育の充実					
	施策内容	②療育学級の実施					
	事業概要	心身の発達に遅れのある乳幼児と保護者に対し、親子が触れ合いながらよりよい発達を促すため、リズム遊び(音楽療法)、体操などの遊びの指導を行います。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	療育学級(ひまわり教室)の実施 【対象】主に乳幼児とその保護者 【内容】心身の発達に遅れの心配のある児とその保護者を対象に、歌や音楽に合わせて身体を動かし、発達を促す療育を実施。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
療育学級実施回数(回)	目標値	11	11	11	11	11	11
	実績値	10					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	保健センターで実施することで、乳幼児期の親子でも参加しやすい教室となっている。療育期間のスタッフが運営スタッフに加わることで、その後の支援にもつながるきっかけとなっている。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	子どもの発達を促すと共に、保護者のサポートも充実させていけるよう、常に運営方法等の振り返り等を行っていきたい。
今後の取り組み方針	引き続き安心して参加できる療育学級として継続する。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート

事業コード	70	部名	こども・健康部	課・所・室名	保育課	係名	保育係
掲載内容	基本目標	4 共に育ち、共に学ぶ療育・教育を推進する					
	基本施策(大柱)	(1)障害のある子どもの療育・教育の充実					
	施策(中柱)	①療育の充実					
	施策内容	③保育体制の充実					
	事業概要	保育園などにおける統合保育の充実を図るため、専門家による巡回指導や保育士の研修を実施します。家庭教育や就学など、それぞれの幼児の障害に応じたさまざまな相談に対し、適切な助言、指導ができるよう指導力の向上など、保育体制の充実を図ります。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	みつばすみれ学園での実習や発達支援サポーター育成研修への参加						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
みつばすみれ学園での実習及び発達支援サポーター育成研修への参加(人)	目標値	30	30	30	30	30	30
	実績値	44					
取り組み・進捗状況及び自己評価	みつばすみれ学園での実習に9名、埼玉県が主催する発達支援サポーター研修に延べ35名が参加し、発達障害児及びその家族への支援方法等の知識の研鑽を図った。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	実習・研修の参加を通じて深めたことを保育の現場で活かすため、参加者から保育園内での共有が必要。
今後の取り組み方針	今後も引き続き実習・研修に参加し、支援の向上を図っていく。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート

事業コード	71	部名	こども・健康部	課・所・室名	保育課	係名	保育係
掲載内容	基本目標	4 共に育ち、共に学ぶ療育・教育を推進する					
	基本施策(大柱)	(1)障害のある子どもの療育・教育の充実					
	施策(中柱)	①療育の充実					
	施策内容	④保育園における受け入れ体制の整備及び促進					
	事業概要	保育園において医療的ケア児を含む障害のある子どもを受け入れるため、保育士の加配や施設のバリアフリー化など障害児保育体制の整備に努め、育成保育事業をさらに進めていきます。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	障害のある児童を受け入れ、専任の職員を配置した施設に補助金を支給						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
保育園・小規模保育施設等における障害児の受入可能人数(人)	目標値	136	136	136	136	136	136
	実績値	164					
取り組み・進捗状況及び自己評価	保育を必要とする障害(要加配)児の受入を行うことができた。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	医療的ケア児を含む障害のある児童への保育ニーズの高まりや加配児童数の増加がある中で、保育士の確保や施設面などから保育園に入所できないケースが生じている。
今後の取り組み方針	今後も引き続き育成保育・障害児保育の受入を行っていく。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート

事業コード	72	部名	こども・健康部	課・所・室名	保育課	係名	保育支援係
掲載内容	基本目標	4 共に育ち、共に学ぶ療育・教育を推進する					
	基本施策(大柱)	(1)障害のある子どもの療育・教育の充実					
	施策(中柱)	①療育の充実					
	施策内容	⑤放課後児童クラブへの支援					
	事業概要	放課後児童クラブで統合保育を行うため、指導員の適正配置など保育の充実を図るとともに、障害のある子どもを受け入れ、担当する指導員を配置する市指定放課後児童クラブに助成を行います。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	・国及び県の補助金交付要綱に基づき、放課後児童クラブに対して補助金を助成する中で、放課後児童クラブ支援事業費の障害児受入推進事業分として、年間200万9千円を上限に、障害のある子どもを受入れ、専任の職員を配置した市指定の放課後児童クラブに対して補助金を交付する。 (市の単独補助事業〔朝霞市独自の補助事業〕ではなく、国1/3、県1/3、市1/3の割合で補助を行う、全国の市町村一律の放課後児童クラブに対する助成制度。)						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
市内の放課後児童クラブのうち、障害児受入推進事業の補助対象に該当し、補助金を支出するクラブ(支援単位)数	目標値	20	20	20	20	20	20
	実績値	8					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	障害のある子どもを受け入れた8クラブ(支援単位)に対し、障害児受入推進事業に係る補助金を交付した。						
	D	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	公設の放課後児童クラブでは障害のある子どもが複数人の利用するなど、放課後児童クラブにおける障害児の利用ニーズがある一方で、一人も利用がない指定放課後児童クラブがあることから、障害のある子どもを持つ家庭に対して指定放課後児童クラブでも受け入れていることについて、周知をする必要がある。
今後の取り組み方針	指定放課後児童クラブにおいても障害のある子どもを受け入れていることの周知を図るとともに、今後も引き続き障害のある子どもを受け入れ、専任の職員を配置した市指定の放課後児童クラブに対して補助金を交付していく。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート

事業コード	73	部名	福祉部	課・所・室名	障害福祉課	係名	障害福祉係
掲載内容	基本目標	4 共に育ち、共に学ぶ療育・教育を推進する					
	基本施策(大柱)	(1)障害のある子どもの療育・教育の充実					
	施策(中柱)	①療育の充実					
	施策内容	⑥児童発達支援事業所等への支援					
	事業概要	療育支援事業を実施し、児童発達支援事業所や放課後等デイサービス事業所などに対し、助言、指導などのサポートを行うことで質の向上に努めます。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	児童発達支援センターに朝霞市障害児等療育支援事業を委託し、児童発達支援事業所や放課後等デイサービス事業所などに対して、スーパーバイズ機能を担い、障害児等の支援の質の向上を目指して支援する。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所へのスーパーバイズ実施回数(回)	目標値	30	30	30	30	30	30
	実績値	34					
取り組み・進捗状況及び自己評価	児童発達支援センター 元気キッズチルズに朝霞市障害児等療育支援事業を委託し、その中で障害児通所支援事業所へのヒアリングや巡回相談を通じたスーパーバイズを行った。また、「アサカツ」と称した障害児通所支援事業所の集まりを年に3回実施し、事業所間の横のつながりや情報交換、連携を促すことで、質の向上に寄与している。						
	B	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	「アサカツ」への参加が1度もない事業所への、事業の普及啓発、及び参画を促し、地域としての質の向上を目指すこと。
今後の取り組み方針	応答のない事業所への積極的な参加の打診、訪問相談の実施等を検討する。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート							
事業コード	74	部名	学校教育部	課・所・室名	教育指導課	係名	-
掲載内容	基本目標	4 共に育ち、共に学ぶ療育・教育を推進する					
	基本施策(大柱)	(1)障害のある子どもの療育・教育の充実					
	施策(中柱)	②教育の充実					
	施策内容	①特別支援教育の充実					
	事業概要	特別支援教育の充実を図るため、それぞれの障害や程度に応じた教育課程を編成するとともに、一人一人の教育的ニーズに応じた支援、施設整備の充実を図ります。 また、特別支援学級を設置する小・中学校への特別支援学級補助員の配置、通常学級に通う障害のある児童生徒への支援員の配置、補助員・支援員への研修などにより、障害のある児童生徒の就学支援及び学習支援に努めます。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	・特別支援学級在籍児童生徒・通級による指導を受ける児童生徒に対して、個別の支援計画・指導計画を作成する。 ・特別支援学級に在籍する児童生徒数、障害の程度に応じて、特別支援学級補助員を配置する。 ・通常の学級における特別な支援を必要とする児童生徒数、障害の程度に応じて、支援員の活用回数を決定する。 ・特別支援教育コーディネーター研修会を実施し、適切な就学支援と個に応じた学習支援の体制を構築する。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
特別支援教育コーディネーター研修会の実施(回)	目標値	2回	2回	2回	2回	2回	2回
	実績値	1回					
取り組み・進捗状況及び自己評価	・特別支援学級在籍児童生徒・通級による指導を受ける児童生徒に対して、個別の支援計画・指導計画を作成することで、保護者と共通理解を図り、特別な支援を必要とする児童に継続的な切れ目のない支援体制を確立することができている。 ・特別支援学級に在籍する児童生徒数183名に対し42名の補助員を配置した。 ・通常の学級における特別な支援を必要とする児童生徒数、障害の程度に応じて、支援員の回数を決定した。 ・特別支援教育コーディネーター研修会は1回であったが、指導主事が直接特別支援学級を担当する教員や補助員を指導するなどして、障害のある児童生徒への学習支援に努めた。 ・医療的ケアが必要な児童に対し、看護師を配置し支援に努めた。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

課題	・特別な支援を必要とする児童の増加に伴い、特別支援学級・通常の学級共に、教師に求められる業務が増加している。 ・インクルーシブ教育を望む保護者の声の高まりにより、就学支援委員会において特別支援学校や特別支援学級が児童の学びの場として適切と判断が出されてはいるが、通常の学級に在籍する児童が増加し、設備や人員の面での充実が必要である。
今後の取り組み方針	・令和7年度5月15日現在44名の補助員を配置し、特別支援学級における支援体制を充実させる。 ・来年度通常級に入学を希望する児童のために、設備と支援員の配置に向け準備を進める。 ・特別な支援を必要とする児童生徒の指導力向上のため、特別支援免許の取得を促すとともに、県主催の特別支援コーディネーター研修参加者を2名推薦した。 ・夏休みには、インクルーシブ教育の推進のための研修を予定している。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート

事業コード	75	部名	学校教育部	課・所・室名	教育指導課	係名	-
掲載内容	基本目標	4 共に育ち、共に学ぶ療育・教育を推進する					
	基本施策(大柱)	(1)障害のある子どもの療育・教育の充実					
	施策(中柱)	②教育の充実					
	施策内容	②就学相談の充実					
	事業概要	障害のある児童生徒が適切な教育が受けられる環境整備に努め、保育園、幼稚園、小・中学校との連携のもとに就学相談体制の充実を図ります。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	・就学相談の流れについて理解を促すため、就学相談オリエンテーションを実施する(5月と10月に開催。10月は令和8年度の入学児童生徒を対象)。 ・就学相談を6月から12月にかけて年間7回実施する。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
就学相談実施回数(回)	目標値	7	7	7	7	7	7
	実績値	7					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	・就学相談オリエンテーションを実施し、保護者・保育園等関係者に就学相談の流れについて理解を促すことができた。 ・就学相談を7回実施し、児童生徒と保護者が納得し、障害のある児童生徒が適切な教育が受けられるよう環境を整備することができた。 ・就学相談と並行し、必要に応じて幼稚園、保育園、小・中学校と連携し、小・中学校の学校見学を実施するなど、就学相談体制の充実にも努めた。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	・就学相談に係る児童生徒数の増加により、就学相談の件数が増加していること。
今後の取り組み方針	・就学相談前に小・中学校の特別支援学級の見学や学校公開への参加、運動会の参観等により、保護者が就学相談時に相談したいことが明確となるように努めていく。 ・学校見学希望の有無・就学相談日程の希望を就学相談オリエンテーションの際に取りまとめることにより、見学に際し、学校の受け入れ体制を整えられるよう配慮していく。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート							
事業コード	76	部名	学校教育部	課・所・室名	教育指導課	係名	-
掲載内容	基本目標	4 共に育ち、共に学ぶ療育・教育を推進する					
	基本施策(大柱)	(1)障害のある子どもの療育・教育の充実					
	施策(中柱)	②教育の充実					
	施策内容	③通常学級に在籍している子どもの支援					
	事業概要	通常学級に在籍している発達障害などの子どもについては、それぞれの障害の特性を踏まえつつ、子どもの発達段階に応じた計画的、継続的な教育支援に努めます。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	・ 通常の学級における特別な支援を必要とする児童生徒の支援について、特別支援学級担当者会や就学支援委員会等の機会を利用し、情報提供をすることで各学校の支援体制の充実を図る。 ・ 通常の学級における特別な支援を必要とする児童生徒の実態を把握し、個別の指導計画を作成する。 ・ 学校からの申請に基づいて「特別な支援を必要とする児童生徒支援員」を配置し、個に応じた指導を実施する。 ・ 校内研修等を通して、発達障害等のある児童生徒について把握し、共通認識をし、指導の充実に努める。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
校内研修等の実施率(%)	目標値	100	100	100	100	100	100
	実績値	100					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	・ 年間7回の就学支援委員会や一斉主任会等において、通常の学級における特別な支援を必要とする児童生徒の支援について、情報提供をすることで各学校の支援体制の充実に寄与した。 ・ 通常の学級における特別な支援を必要とする児童生徒の実態を把握し、個別の支援計画を作成した。 ・ 学校からの申請に基づいて「特別な支援を必要とする児童生徒支援員」を配置し、個に応じた指導を実施した。 ・ 校内研修・学校訪問等を通じて、発達障害等のある児童生徒について把握し、共通認識をし、指導の充実に努めた。						
	C	- A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 - B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 - C 目標・計画どおりに成果があがっている。 - D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 - E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	・インクルーシブ教育の充実のため、通常の学級における特別な支援を必要とする児童生徒支援員では対応が難しい肢体不自由等の児童の入学も今後見込まれており、校内における教員の指導の充実に向けた研修、補助員の配置、設備の準備が必要。
今後の取り組み方針	・新規の支援員の申請。 ・県立特別支援学校のセンター機能を活用した巡回相談の充実。 ・学校の状況に応じた支援員の配置等支援体制の充実。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート							
事業コード	77	部名	学校教育部	課・所・室名	教育指導課	係名	-
掲載内容	基本目標	4 共に育ち、共に学ぶ療育・教育を推進する					
	基本施策(大柱)	(1)障害のある子どもの療育・教育の充実					
	施策(中柱)	②教育の充実					
	施策内容	④医療的ケア児への支援					
	事業概要	小・中学校に通う医療的ケア児に対し、看護師配置を行い、学習参加への支援体制の充実に図ります。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	医療的ケアを必要とする児童生徒に対し看護師配置を実施し、できる限り他の児童生徒と同じ学校生活を送ることができるようにし、学習や体験活動の充実に図る。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
医療的ケアを必要とする児童生徒への看護師配置率(%)	目標値	100	100	100	100	100	100
	実績値	100					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	・朝霞第七小学校において看護師配置を実施。 ・校外学習時にも同行し、できる限り他の児童生徒と同じ学校生活を送ることができるようにし、学習や体験活動の充実に図ることができた。 ・令和7年度に入学する医療的ケアが必要な児童への看護師配置のための申請を行い、医療的ケアが必要な児童が通常の学級に入学できるように体制を整備した。						
	A	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	・医療的ケアが必要な児童の情報の共有
今後の取り組み方針	・医療的ケア児に対する庁内の連絡会を活用し、情報共有を図り、支援体制を強化していく。 ・小・中学校に通う医療的ケア児に対する看護師配置により、今後もインクルーシブ教育の推進を進めていく。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート							
事業コード	78	部名	学校教育部	課・所・室名	教育指導課	係名	-
掲載内容	基本目標	4 共に育ち、共に学ぶ療育・教育を推進する					
	基本施策(大柱)	(1)障害のある子どもの療育・教育の充実					
	施策(中柱)	③福祉教育の充実					
	施策内容	①交流及び共同学習の推進					
	事業概要	通常学級における福祉教育を推進するとともに、通常学級と特別支援学級の児童生徒が共に学ぶ機会の設定、特別支援学級の児童生徒による学習発表会、作品展の開催などの機会を増やして、障害のある児童生徒への理解を深め、相互の交流及び共同学習を推進します。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	・児童生徒の障害の程度、特性に応じて、個をより成長させるための交流及び共同学習を実施する。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
交流及び共同学習の実施率(%)	目標値	100	100	100	100	100	100
	実績値	100					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	・通常の学級と特別支援学級の担任が密に連絡を取りながら、児童生徒の障害の程度や特性に応じて、計画的に交流及び共同学習を実施した。 ・なかよし発表会、なかよし作品展では、多くの方に、子供たちが日頃の学習や生活で学んだ力を発揮し、個性豊かな発表や作品を参観してもらうことができた。						
	A	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	・インクルーシブ教育に対する教職員の意識のさらなる向上。 ・全ての教職員に求められる特別支援教育に関する専門性のさらなる向上。
今後の取り組み方針	・研修等を通じて共生社会の実現やインクルーシブ教育の重要性について、一層の啓発を図る。 ・全ての教員を対象とした特別支援教育に関する研修や免許法認定講習・巡回相談等を活用し、全ての教職員に求められる特別支援教育に関する専門性の向上を促進する。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート

事業コード	79	部名	こども・健康部	課・所・室名	保育課	係名	保育総務係
掲載内容	基本目標	4 共に育ち、共に学ぶ療育・教育を推進する					
	基本施策(大柱)	(1)障害のある子どもの療育・教育の充実					
	施策(中柱)	③福祉教育の充実					
	施策内容	②交流保育の推進					
	事業概要	児童発達支援センターみつばすみれ学園と公設公営保育園との交流会を開催し、触れ合いの場を創造します。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	みつばすみれ学園と保育園児の交流						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
みつばすみれ学園と保育園児の交流回数(回)	目標値	20	20	20	20	20	20
	実績値	15					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	令和6年度は北朝霞保育園で6回、東朝霞保育園で9回の交流を行った。						
	D	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	・慣れない場所での活動のため、設定あそびのほうが良い。 ・交流に来ている職員や保護者も名前で呼ぶと親しみを持てたり、かわりが増えたので、後半から名札を付けて良かった。 ・前期・中期・後期と打ち合わせをこまめにする事で、その都度振り返りや調整ができる。
今後の取り組み方針	今後も引き続き計画的に交流会を継続していく。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート							
事業コード	80	部名	学校教育部	課・所・室名	教育指導課	係名	-
掲載内容	基本目標	4 共に育ち、共に学ぶ療育・教育を推進する					
	基本施策(大柱)	(1)障害のある子どもの療育・教育の充実					
	施策(中柱)	③福祉教育の充実					
	施策内容	③障害のある人を理解する学校教育の充実					
	事業概要	小・中学校において、児童生徒の発達段階に応じた計画的、継続的な福祉教育や障害のある人との交流教育、ボランティア教育の推進を図ります。 また、福祉への理解と関心を高めるために、地域や障害者団体・施設などと連携した福祉教育を促進します。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	- 総合的な学習の時間等において、福祉に関する教育を充実させる。 - 中学校社会科の公民分野において、社会保障の仕組みについて学ぶ。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
福祉教育の実施状況(%)	目標値	100	100	100	100	100	100
	実績値	100					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	- 小・中学校において、年間指導計画に基づき、車いす体験やアイマスク体験を実施したり、手話について学習したりすることで、福祉教育に対する理解を深めた。 - 視覚障害など障害のある方を実際に講師に招いて話を聞くなどして、共生社会実現に向けて理解を深めた。						
	A	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	・福祉との連携を深めること。
今後の取り組み方針	・現状どおり推進していく。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート

事業コード	83	部名	都市建設部	課・所・室名	まちづくり推進課	係名	区画整理係
掲載内容	基本目標	5 安心・安全な暮らしをつくる					
	基本施策(大柱)	(1)福祉のまちづくりの推進					
	施策(中柱)	①総合的なまちづくりの推進					
	施策内容	①歩道の整備					
	事業概要	歩道と車道の分離、歩行空間の確保、道路拡幅、交差点における歩道と車道の段差解消など、バリアフリー化された歩行空間の整備を推進します。 また、新設道路については、歩道のフラット化(歩車道境界ブロックなどによる歩道と車道の分離)を進めます。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	事業認可した都市計画道路整備において、歩車道分離による歩行空間の確保、段差解消によるバリアフリー化された歩行空間の整備を目指す。取得した事業用地については、仮歩道を整備することで、歩行空間を確保する。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
都市計画道路の整備(m) (道路供用延長)	目標値	—	—	—	—	—	—
	実績値	—					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	現在、駅東通線約210m及び岡通線約198mの整備に向けて用地交渉を行っている。 令和6年度、駅東通線においては、2件(1件は共同住宅(借家人17人)、もう1件は貸駐車場)の売買契約等を締結し、用地取得を進めた。岡通線においては、2件(1件は工作物、もう1件は細筆土地)の売買契約等を締結し、用地取得を進めた。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	特になし。
今後の取り組み方針	引き続き、未取得となっている土地の地権者等との交渉を進める。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート

事業コード	84	部名	都市建設部	課・所・室名	道路整備課	係名	道路管理係
掲載内容	基本目標	5 安心・安全な暮らしをつくる					
	基本施策(大柱)	(1)福祉のまちづくりの推進					
	施策(中柱)	①総合的なまちづくりの推進					
	施策内容	②交通安全施設の整備					
	事業概要	点字誘導ブロックや音声誘導装置、反射鏡、道路照明灯などの設置を促進します。 また、交通量や横断者の多い道路については、障害のある人の安全性にも配慮しながら、信号機の設置などについても、働きかけを行います。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	点字誘導ブロックや音声誘導装置、反射鏡、道路照明灯などの設置を促進します。 また、交通量や横断者の多い道路については、障害のある人の安全性にも配慮しながら、信号機の設置などについても、働きかけを行います。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
道路パトロール回数(日)	目標値	45	45	50	50	55	55
	実績値	50					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	現場対応等で出勤の際、帰庁時にパトロールも兼ねて見回りを行っている。点字ブロックについては、剥がれている箇所もあったため修繕を実施。また、新しい道路照明灯については、6基設置を行った。						
	B	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	道路施設について老朽化がみられ、修繕が必要な箇所が増えている。
今後の取り組み方針	パトロールを増やし、早期に修繕が必要な箇所を認識し、計画的に修繕を行う。